

令和3年4月30日（金曜日）



## 【全測連ら】さらなる活躍に期待込め足立敏之議員へ推薦状

全国測量設計業協会連合会（全測連、方波見正会長）および全国測量設計政治連盟（野瀬操会長）は、来年夏に予定されている第26回参議院議員通常選挙（比例代表）で建設業の職域代表候補として、足立敏之参議院議員を自由民主党に推薦することを決めた。28日には参議院議員会館で足立議員へ推薦状を手渡した。

全測連の方波見会長は「測量業界はまだ評価が低く、特に地方では最低制限価格制度を実施していない自治体も多い。測量業の底上げと、国民に対する安心安全のための3Dによるデータ化などの業務の拡大と同時に浸透をお願いしたい。全測連としても防災・減災、国土強靱化に対する国民の理解を得られるような活動をしていきたい」と述べ、応援を約束した。

政治連盟の野瀬会長は「常に前向きにフットワークも軽く活動される、非常に頼りになる先生。自民党の測量設計議員連盟の『新たな測量設計業のあり方PT』の事務局長も務めており、われわれとしては、さらなる支援をしていただきたい」と期待を寄せた。

足立議員は、改正品確法で測量設計業が法律上明示されたことに触れながら、まだ課題があるとし「品確法改正の思いが実現できるようにしたい」と説明。また「新たな測量設計のあり方の中で非常に大きなテーマである3次元の基盤データを使いながら、ハザードマップなどに生きたデータとして活用できるように整備していくことが急がれる。皆さまの期待に応えられるように頑張りたい」との決意を伝えた。



方波見会長（左）と野瀬会長（右）が足立議員へ推薦状を手渡した